

アドバンス・ルール



- ① 分子カードの山札
最初に 30 枚の分子カードを置く場所
- ② Labo カードの山札
最初に 20 枚の Labo カードを置く場所
- ③ バトルエリア
分子カードを配置し、バトルを行う場所
- ④ Labo カードゾーン
常時発動するタイプの Labo カードを置く場所
- ⑤ ディフィートゾーン
倒されたカードを表向きにして置く場所
- ⑥ トラッシュゾーン
使用した Labo カードや分子カードを裏向きにして置く場所

分子カード
炭素数や分子量などが示されたカード。このカードでバトルする。

分子カード30枚

分子式
炭素数
分子量
沸点
分類
性質
説明

ゲーム開始前の準備

1. 分子カード、Labo カードそれぞれの山札をシャッフルし、指定された所に置く。
2. 2つの山札から、手札が合計 6 枚となるようにカードをとる。
3. ジャンケンで勝ったプレイヤーが先攻、後攻を決める。

1 ターンの流れ

1. 2つの山札から、カードを合計 2 枚引く。
2. 分子カードを、バトルエリアにカードの合計炭素数が 6 以下になるように手札から出す。また、Labo カードを 1 ターンにつき 2 枚まで手札から使用できる。
3. 相手の分子カードを一枚選び、そのカードとバトルをする。
なお、この行動は後攻 1 ターン目から行うことができる。(この後、相手に対象を差し替えられる場合がある)
4. 倒されたカードはディフィートゾーンに移動させ、表向きにして置く。
5. 使用した Labo カードはトラッシュゾーンに裏向きにして置く。
6. 相手にターンを渡す。

Laboカード
化学反応や実験・観察を題材にした特殊効果でバトルを有利にすることができるカード

Laboカード20枚

操作/試薬
対象
効果
説明

勝敗について

- ディフィートゾーンの炭素数の合計が 8 個以上になったプレイヤーが負けとする。
- 合計 2 ターン分子カードを出すことができない場合は負けとする。

バトルについて

- 分子量が大きいカードが勝つ。
- Labo カードの「エバポレーター」を使用した場合は、沸点が高いカードが勝つ。
- 相手と自分の分子カードの勝負する条件（分子量または沸点）が同じ場合は、攻撃することができない。
- 攻撃した際、相手の分子カードの方が強い場合は、その攻撃が無効になる。
- 攻撃された側は、前ターンに攻撃していないバトルエリアの分子カードにバトルする対象を移し替えることができる。(例: 強いカードの代わりにメタンで攻撃を受けるなど)

その他のルール

- バトルエリアにある分子カードは、1 ターンに 1 枚だけトラッシュゾーンに移動できる。
- 降参したいときはその旨を宣言する。